

国
文部科学省

熊本県
教育委員会

熊本県球磨
教育事務所

錦町
教育委員会

錦町小(中)学校 共通実践事項

- 1 帰宅時刻** ※ 自宅に到着する時刻です。
 4月～10月 18:00 (夏休みを含む)
 11月～3月 17:00 (冬休みも含む) 春休み 17:00

2 錦町情報安全ルール3か条

- 第1条 午後9時以降は使いません
 第2条 知らない人と連絡をとりません。会いません。
 第3条 友達がいやがることや個人情報を書き込みません。
 第4条 「我が家のルール」

3 家庭学習の習慣化

基本的な学習習慣を身に付ける

低学年 家庭学習計20分以上

家庭学習の習慣を身に付ける大切な時期です。一緒に寄りそいながら見守りや確認を行いましょう。

- ① 合計20分以上学習できるようにしましょう。
- ② 家庭学習の内容と一緒に確認し、家庭学習の習慣化につなげましょう。音読は必ず聴きましょう。
- ③ 宿題をして、必ず提出できるように確認しましょう。宿題や音読ができたらほめ、進んで学習する意欲を高めましょう。
- ④ やり遂げた宿題を見て、頑張りを認める声掛けをしましょう。



自主的な学習習慣を身に付ける

中学年 家庭学習計40分以上

家庭学習を定着させる大切な時期です。自主性を育てながら、見守りや確認を行いましょう。

- ① 合計40分以上学習できるようにしましょう。
- ② 家庭学習の順序を子どもと一緒に話し合い、自分で宿題等を終わらせる習慣をつけさせましょう。
- ③ どんな自主学習をするとういかなどについて話し合い、自主的に取り組むことができたらしっかりほめましょう。
- ④ 意欲が高まる声かけをし、できたところをしっかり認め、ほめましょう。



計画的・継続的な学習習慣を身に付ける

高学年 家庭学習計60分以上

自主性や計画性を身に付ける時期です。生活や授業に合わせた学習ができるよう、見守りや確認を行いましょう。

- ① 合計60分以上学習できるようにしましょう。
- ② 学習内容や時間・場所など、子どもと一緒に話し合い、計画表を作って学習させましょう。
- ③ 計画的・継続的に家庭学習に取り組むことができたらほめましょう。今の目標や将来の夢について話題にしましょう。
- ④ 自己肯定感が高まるように、学校や家庭での頑張りを認め、ほめ、励ましましょう。



4 授業の展開

- ① 毎時間始めに、復習の時間を設定する。(単元の導入の時間は除く)
- ② 週末に、振り返りの時間を設定する。
 児童同士 振り返りの内容共有 児童の記述を教師が見取る
- ③ 音読(声に出して読む)の機会を確保する。
 「めあて」「まとめ」を声に出して読む

5 学力向上サイクル(錦町)

	4月	5月	6月	7月
学校	知能テスト小2～中3 学力テスト小2～中3 全学調 小6・中3	課題改善・指標達成に向けた実践 課題分析	課題改善 重点期間	結果分析
家庭	休業中の生活の安定	子どもの学力向上・生活の向上に向けた支援		

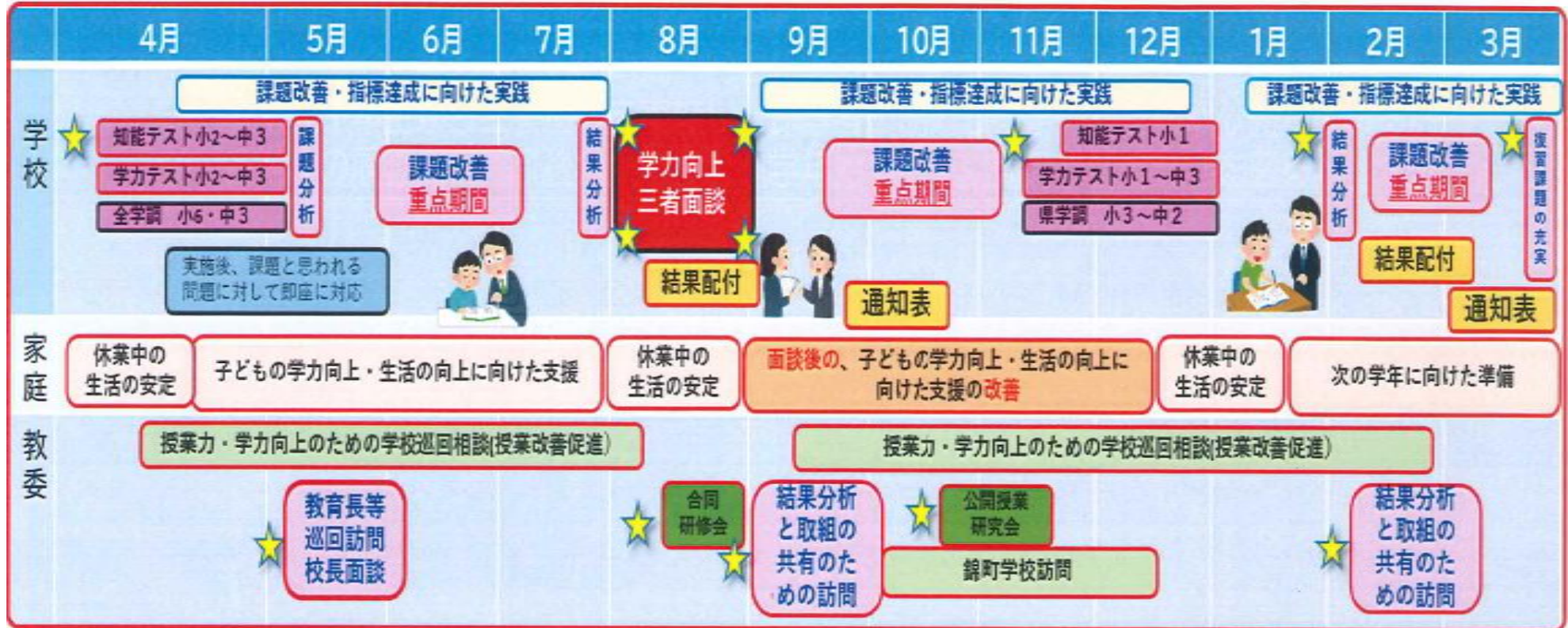
目標

学校・家庭・教育委員会が連携して錦町の子どもたちを誰一人取り残すことなく最大限の学びを保証する

- ① 学力検証サイクルを年間2回設定する。(4月テスト・12月テスト) そのために、学力テストの時期・内容を見直した。通知表も年間2回にした。
- ② 小学校1年生から三者面談を実施し、保護者と協力して学力向上に取り組んでいる。
- ③ 各学年の履修内容終了後から学年末・学年始め休業期間の学習の充実を図る。

学力向上サイクル(錦町)

目標：学校・家庭・教育委員会が連携・協力して
錦町の子どもたちを誰一人取り残すことなく
最大限に学びを保障する



- ① 学力検証サイクルを年間2回設定する。(4月テスト・12月テスト)
そのために、学力テストの時期・内容を見直した。通知表も年間2回にした。
- ② 小学校1年生から三者面談を実施し、保護者と協力して学力向上に取り組んでいる。
- ③ 各学年の履修内容終了後から学年末・学年始め休業期間の学習の充実を図る。

家庭学習の習慣化をめざして

保護者の皆様へ



「やったね!」「よくできた!」などのほめ言葉が、学習への意欲を生み出します!

学校と家庭との協力

最近、「家庭での学習時間の減少」「テレビやSNS、ゲーム等のスクリーンタイムの増加」など子どもたちに関する様々な課題が全国的にも指摘されています。

錦町の児童生徒の自己実現のために、学校と家庭が連携して、子どもたちに確かな学力や豊かな心を育むことが大切です。発達段階に応じた取組や声掛けなど、学校と家庭で協力して行いましょう。



学力と学習習慣・生活習慣との関係

全国学力・学習状況調査の質問紙の結果から、特に学力との関係が高い傾向にあった基本的な生活習慣は次のような点です。

小学校

- 朝食を毎日食べている。
- 起床時刻と就寝時刻が決まっている。
- 読書する時間が確保されている。
- スクリーンタイムは1時間以内。



中学校

- 学校に持っていくものを前日に確かめている。
- 計画的に学習をしている。
- 家で苦手な教科の勉強をしている。
- スクリーンタイムは午後9時まで。

基本的な生活習慣が大切です。



基本的な学習習慣を身に付ける

低学年 家庭学習合計20分以上

家庭学習の習慣を身に付ける大切な時期です。一緒に寄りそいながら見守りや確認を行いましょう。

- ①合計20分以上学習できるようにしましょう。
- ②家庭学習の内容と一緒に確認し、家庭学習の習慣化につなげましょう。音読は必ず聴きましょう。
- ③宿題をして、必ず提出できるように確認しましょう。宿題や音読ができたらほめ、進んで学習する意欲を高めましょう。
- ④やり遂げた宿題を見て、頑張りを認める声掛けをしましょう。



自主的な学習習慣を身に付ける

中学年 家庭学習合計40分以上

家庭学習を定着させる大切な時期です。自主性を育てながら、見守りや確認を行いましょう。

- ①合計40分以上学習できるようにしましょう。
- ②家庭学習の順序を子どもと一緒に話し合い、自分で宿題等を終わらせる習慣をつけさせましょう。
- ③どんな自主学習をするとよいかなどについて話し合い、自主的に取り組むことができたらしっかりほめましょう。
- ④意欲が高まる声かけをし、できたところをしっかりと認め、ほめましょう。



計画的・継続的な学習習慣を身に付ける

高学年 家庭学習合計60分以上

自主性や計画性を身に付ける時期です。生活や授業に合わせた学習ができるよう、見守りや確認を行いましょう。

- ①合計60分以上学習できるようにしましょう。
- ②学習内容や時間・場所など、子どもと一緒に話し合い、計画表を作って学習させましょう。
- ③計画的・継続的に家庭学習に取り組むことができたらしっかりほめましょう。今の目標や将来の夢について話題にしましょう。
- ④自己肯定感が高まるように、学校や家庭での頑張りを認め、ほめ、励ましましょう。



自分で課題を見つけ、計画的・継続的な学習習慣を身に付ける

中学生 家庭学習合計2時間以上

進路実現を目指す時期です。時間を有効に活用して学習するための見守りや確認を行いましょう。

- ①すき間時間を活用し、合計2時間以上学習できるようにしましょう。
- ②様々な提出物・テスト等に向けて目標達成できるように、学習計画を立て、見通しをもった学習をさせましょう。
- ③将来の進路について一緒に考え、励まし、様々な可能性について話し合いましょう。
- ④子どもの自尊感情が育つように、子どものがんばりを認め、ほめ、励ましましょう。



★ できるようになったら、上の学年のめあてに挑戦させましょう。